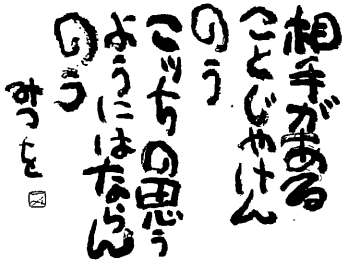


さくら第486号

令和 2年6月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬重雄
春江町境 17-7:Tel51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp



『コロナ感染防止から学ぶ』

3月2日から全国の小学校、中学校、高校、大学が新型コロナウイルス感染防止のために休校となり、6月1日よりようやく学校再開の授業がはじまることになりました。

その間、外出自粛となり、外へ出る時にはマスク着用、手指の消毒が必要となり不便で、危険と、となりあわせの毎日です。

自宅ですごしているといろいろな事がおき、家族みんながたいへんな思いですごしています。そこで、どのような生活であったかのアンケートをとり、まとめてみました。

いまだかつてないコロナとの戦いは心身ともに疲れたことでしょうか、今後の生活のなかでこの経験を生かしていきたいものです。

(1)いつも家ですごし、大変な思いですね。とくに困ったことは何ですか？3つだけ番号に○をつけてください。

- ①外で遊べない ②友だちに会えない
- ③学校へ行けない ④給食がない
- ⑤勉強しろと言われる ⑥兄弟姉妹でのケンカ
- ⑦勉強ができず不安 ⑧外食に行けない
- ⑨手洗いマスクがづらい ⑩ヒマでたいくつ

(2)これまで、だれも体験したことのないコレラ感染をふせぐため、長いながい休校ですが家の中でみんながいっしょに過ごすことから、今まで思わなかったこと、気づかなかつたよいことを発見したと思います。それはどんなことですか。書きましょう。

中学生以上の感想は下記の通りでした。

▲家族での会話がたくさん増えいつもにぎやかだったこと▲料理をする時間ができ料理をする楽しさに気づいた▲家ではなかなか勉強

しづらいので学校に行く大事さに気づけた▲学校がないと規則正しい生活をおくるのが困難になる▲少し忙しくらいがいいと思ったし家事はとても大変だと気づいた▲おじいちゃんが洗濯物をとりこんでいた▲家族でいることが多くなってみんなでゲームをしたり遊べたりして楽しかった▲植物を育て始め日々大きくなっていく花を見て嬉しくなった▲休みの日が長かったら、友だちとも遊べないし学校にも行くことができないから意外とたいくつだということ▲たくさん寝れて成長したしゲームがいっぱいできる▲姉と庭で運動したりゲームしたりできること▲ふだんできなかったことができ数学の勉強がゆっくりできる。家族との会話が增えたがYuutubuを見すぎてしまう▲家族がいて良かったなと思った。今まで忙しくて出来なかったことができるようになったことと、もっと政治について真剣に考えることができるようになった▲親の大変さが分かった▲社会ができるようになり数学が得意になった。

6年生の意見では、▲家族みんなでいると楽しい▲帰ってきたら手洗いとうがいを正しくするようになった▲いつも勉強はめんどうくさいと思っていたけれど、この休校で勉強はやっぱり大切だということが分かったこと▲自分の好きな事ができるし、手伝いがたくさんできる▲学校がなくなって勉強を家でする時、分からない問題があると改めて先生に教えてもらうのが楽しくて分かりやすいと思う。ふだん学校にいる時間も家にいるので家族とたくさんしゃべることができて嬉しい。

3ヶ月にも及ぶ自粛生活は子どもも大人も初めての体験なのでどう対応するか不安だらけだと思います。今まで何ごとも当たり前の生活であったがそれが一変したことで気づいたよいことが多くあります。

自分からできることを積極的にして家族が助け合い仲良く過ごすことの大切さを再確認し、学校での規則正しい生活が大事である。料理や花を育てる楽しさを知り、親の大変さ、ありがたさを分かるなど心の成長に今後を期待。